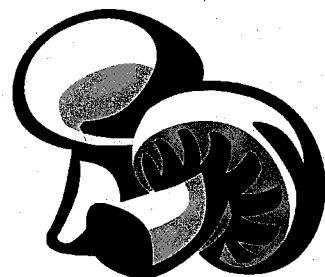


# 武儀地域づくりアンケート

## 結果報告書

平成24年11月

NPO法人日本平成村・関市



# 「武儀地域づくりアンケート」結果・集計

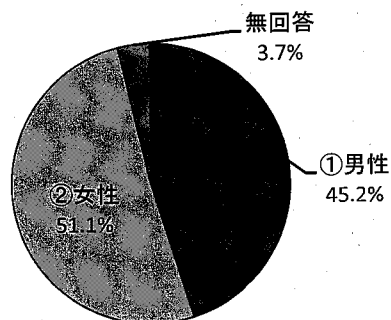
## (1) アンケートの概要

- ①調査の目的  いつまでも安心して住み続けられる武儀にするために、地域の課題を把握し、住民の力で課題の解決を図る方策を見出すために実施しました。また、本アンケートの結果を、地域振興計画（地域委員会の行動計画）に反映するために実施しました。
- ②調査主体  NPO法人日本平成村、関市
- ③調査期間  平成24年9月13日から9月30日まで
- ④調査対象  平成24年9月1日現在、武儀地域に在住する18歳から80歳までの住民から1,200人を無作為抽出
- ⑤配布数  1,200部
- ⑥配布及び回収方法  自治会を通じた配布及び回収
- ⑦有効回収数  1,021（回収率85.1%）
- ※武儀の全住民（3,713人）に対する割合  27.5%

## (2) 回答者の属性

### 問1 あなたの性別はどちらですか

設問	回答数	構成比
① 男性	461	45.2%
② 女性	522	51.1%
不明(無回答)	38	3.7%
合計	1,021	100.0%



### 【武儀地域の住民基本台帳人口 男女別（平成24年9月1日現在）】

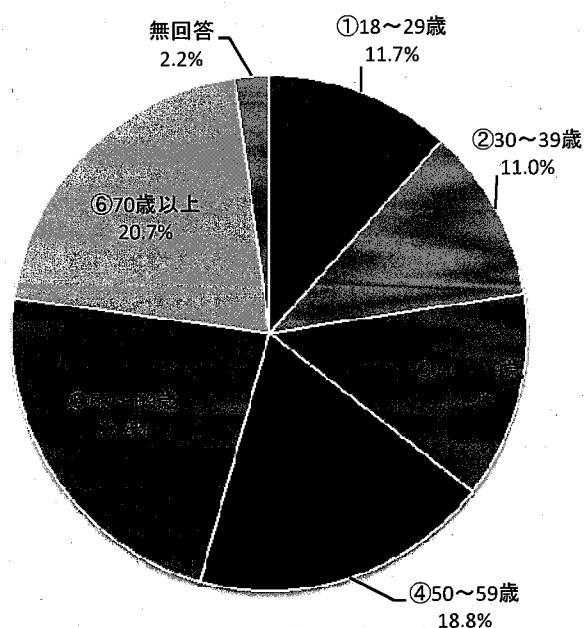
区分	人数	構成比
男性	1,800	48.5%
女性	1,913	51.5%
合計	3,713	100.0%

○アンケートの回答者の性別は、男性45.2%、女性51.1%、不明3.7% となっています。

○アンケートの回答者の男女比は、住民基本台帳人口（平成24年10月1日現在）の男女比とほぼ同じになっています。

## 問2 あなたの年齢は満何歳ですか

設問	回答数	割合
① 18歳から29歳まで	119	11.7%
② 30歳から39歳まで	112	11.0%
③ 40歳から49歳まで	132	12.9%
④ 50歳から59歳まで	192	18.8%
⑤ 60歳から69歳まで	233	22.8%
⑥ 70歳から80歳まで	211	20.7%
不明（無回答）	22	2.2%
合計	1,021	100.0%



### 【武儀地域の住民基本台帳人口 年齢区分（平成24年9月1日現在）】

年齢区分	人数	割合
18歳から29歳まで	412	14.7%
30歳から39歳まで	331	11.8%
40歳から49歳まで	324	11.5%
50歳から59歳まで	538	19.1%
60歳から69歳まで	606	21.6%
70歳から80歳まで	601	21.4%
合計	2,812	100.0%

※参考 81歳以上人口 500人

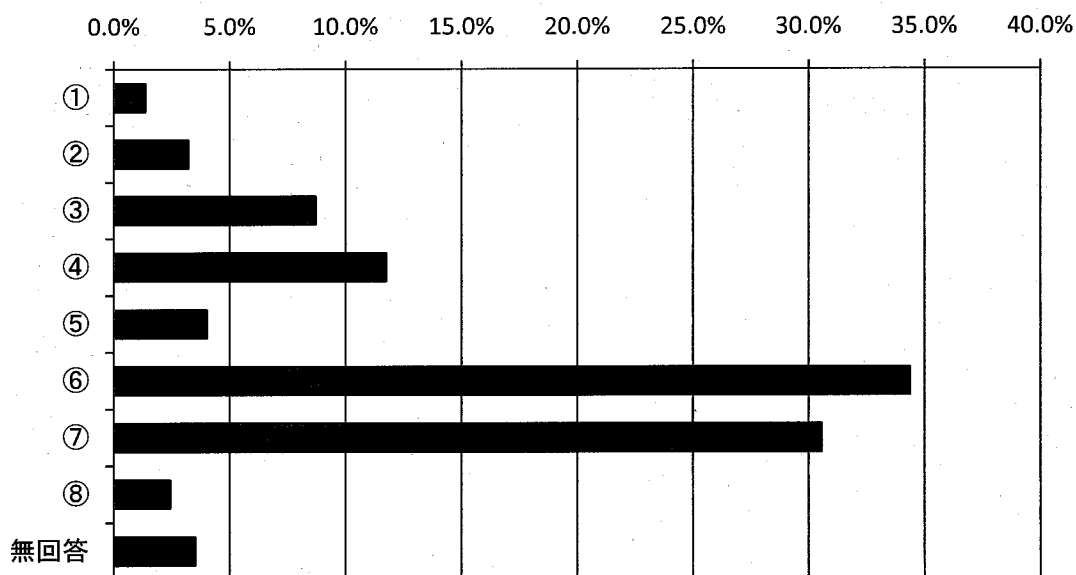
○年齢は、「60歳から69歳まで」が22.8%と一番多く、次いで、「70歳以上」が20.7%、「50歳から59歳まで」が18.8%と多くなっています。

○アンケートの回答者の年齢は、住民基本台帳人口（平成24年10月1日現在）の年齢比とほぼ同じになっており、武儀地域の実態に即したアンケートが実施できたことを示しています。

### 問3 あなたの世帯はどのような形態ですか

設 問	回答数	割合
① 単身世帯（65歳未満）	14	1.4%
② 単身世帯（65歳以上）	33	3.2%
③ 夫婦2人の世帯（2人とも65歳未満）	89	8.7%
④ 夫婦2人の世帯（2人とも65歳以上）	120	11.8%
⑤ 夫婦2人の世帯（どちらか1人が65歳以上）	41	4.0%
⑥ 2世代の世帯（親と子どもからなる世帯）	351	34.4%
⑦ 3世代の世帯（親と子と孫からなる世帯）	312	30.6%
⑧ その他	25	2.4%
不明（無回答）	36	3.5%
合 計	1,021	100.0%

<「⑧その他」の主な回答>  
4世代の世帯、姉弟・兄弟、夫婦と姉妹 など



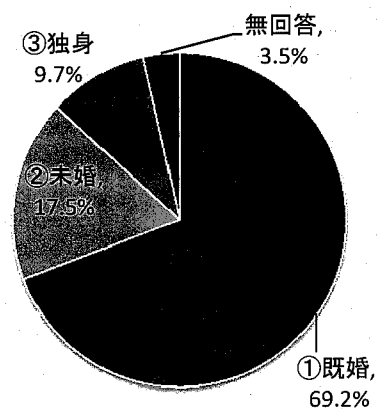
○世帯構成は、親と子どもからなる「2世代の世帯」が一番多く34.4%、次いで、親と子と孫からなる「3世代の世帯」が30.6%と多くなっています。子どもが武儀地域に残った場合は、親と同居する傾向が強いことが分かります。

○「夫婦2人の世帯」は、24.5%を占め、全体の1/4が夫婦のみの世帯となっています。そのうち、2人とも65歳以上の高齢者夫婦は、11.8%を占めています。

○単身世帯は4.6%を占めており、今後の増加が懸念されます。  
※参考：武儀地域の80歳以上の単身世帯数 74世帯

#### 問4 あなたは既婚ですか・未婚ですか

設問	回答数	割合
① 既婚	707	69.2%
② 未婚	179	17.5%
③ 独身（死別、離婚など）	99	9.7%
不明（無回答）	36	3.5%
合計	1,021	100.0%



#### 【年齢別×男女の既婚、未婚の状況】

区分		既婚		未婚		独身（離別等）		無回答		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18歳から29歳まで	男性	5	4.2%	52	43.7%	2	1.7%	0	0.0%	59	49.6%
	女性	10	8.4%	50	42.0%	0	0.0%	0	0.0%	60	50.4%
	計	15	12.6%	102	85.7%	2	1.7%	0	0.0%	119	100.0%
30歳から39歳まで	男性	34	30.4%	22	19.6%	4	3.6%	1	0.8%	61	54.6%
	女性	37	33.0%	11	9.8%	2	1.8%	1	0.8%	51	45.4%
	計	71	63.4%	33	29.4%	6	5.4%	2	1.8%	112	100.0%
40歳から49歳まで	男性	41	31.0%	8	6.1%	7	5.3%	1	0.8%	57	43.2%
	女性	62	47.0%	6	4.5%	7	5.3%	0	0.0%	75	56.8%
	計	103	78.0%	14	10.6%	14	10.6%	1	0.8%	132	100.0%
50歳から59歳まで	男性	73	38.0%	9	4.7%	8	4.2%	0	0.0%	90	46.9%
	女性	91	47.4%	4	2.1%	6	3.1%	1	0.5%	102	53.1%
	計	164	85.4%	13	6.8%	14	7.3%	1	0.5%	192	100.0%
60歳から69歳まで	男性	90	38.6%	6	2.6%	8	3.4%	3	1.2%	107	45.8%
	女性	108	46.4%	3	1.3%	11	4.6%	2	0.9%	124	53.2%
	計	198	85.0%	9	3.9%	21	9.0%	5	2.1%	233	100.0%
70歳から80歳まで	男性	67	33.0%	2	1.0%	12	5.9%	6	3.0%	87	42.9%
	女性	75	36.9%	2	1.0%	26	12.8%	7	3.4%	110	54.2%
	計	148	72.9%	4	2.0%	38	18.7%	13	6.4%	203	100.0%
年齢不明		8	26.7%	4	13.3%	4	13.3%	14	46.7%	30	100.0%
合計		707	69.2%	179	17.5%	99	9.7%	36	3.5%	1,021	100.0%

○「既婚者」が69.2%、「未婚者」が17.5%、「離婚、死別などによる独身」が9.7%となっています。

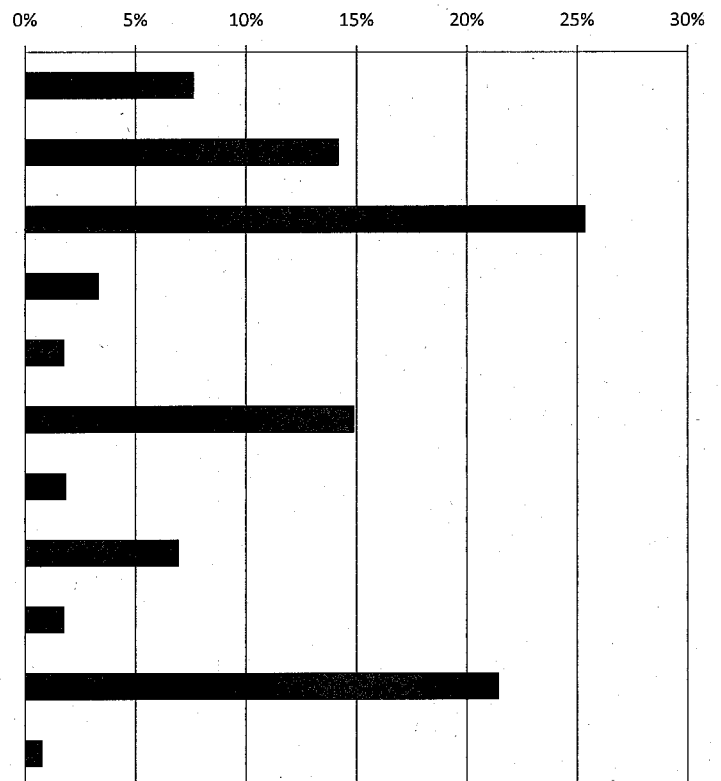
○「離別、死別などによる独身」は、高齢者の女性になるほど多くなる傾向にあります。

○年齢別の未婚者は、「18歳から29歳まで」のうち85.7%、「30歳から39歳まで」のうち29.4%、「40歳から49歳まで」のうち10.6%となっています。地域全体では17.5%の人が未婚者となっています。また、「30歳から39歳まで」の男性のうち未婚が19.6%と多くなっており、今後地域をあげて、婚活事業に取り組む必要があります。

※参考：全国平均の未婚率は、50歳の段階で男性20.1%、女性が10.6%が未婚で、都会ほど未婚率が高い傾向にあります。

## 問5 あなたの職業は何ですか

設問	回答数	割合
① 農業、林業	78	7.6%
② 自営業、事業主	145	14.2%
③ 会社員、団体職員	259	25.4%
④ 公務員	34	3.3%
⑤ 会社や団体の役員	18	1.8%
⑥ パート・アルバイト	152	14.9%
⑦ 学生	19	1.9%
⑧ 主に家事、育児、孫の世話	71	7.0%
⑨ その他	18	1.8%
⑩ 無職	219	21.4%
不明（無回答）	8	0.8%
合計	1,021	100.0%



※「⑨その他」の主な回答 具体的な記入はありませんでした。

### 【年齢別×主な職業の状況】

区分	② 自営業、事業主		③ 会社員 団体職員		⑥ パート アルバイト		⑩ 無職	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
18歳から29歳まで	5	4.2%	68	57.1%	7	5.9%	9	7.6%
30歳から39歳まで	21	18.8%	48	42.9%	19	17.0%	7	6.3%
40歳から49歳まで	19	14.4%	48	36.4%	25	18.9%	5	3.8%
50歳から59歳まで	39	20.3%	59	30.7%	48	25.0%	13	6.8%
60歳から69歳まで	45	19.3%	32	13.7%	42	18.0%	63	27.0%
70歳から80歳まで	15	7.4%	1	0.5%	7	3.4%	117	57.6%

○職業は、「会社員、団体職員」が25.4%と一番多く、次いで、「無職」が21.4%、「パート・アルバイト」が14.9%、「自営業、事業主」が14.2%と多くなっています。

○特に、地域活力を生み出すために、高齢者の活用が重要な課題になってきます。

問6 問5で①から⑨を選ばれた方にお聞きします。  
あなたの勤務地はどこですか。

設問	回答数	割合	0%	10%	20%	30%	40%	50%
① 武儀地域	348	45.4%						
② 関市内（武儀以外）	200	26.1%						
③ 美濃市	37	4.8%						
④ 美濃加茂市・可児市・加茂郡	88	11.5%						
⑤ その他の地域（県内）	61	8.0%						
⑥ その他の地域（県外）	32	4.2%						
合計	766	100.0%						

<「⑤その他の地域（県内）」の主な回答>  
岐阜市（回答数28）、各務原（回答数9）、可児市（回答数2）、  
多治見市、下呂市、土岐市、瑞穂市、笠松町（各回答数1）

<「⑥その他の地域（県外）」の主な回答>  
名古屋市（回答数9）、小牧市（回答数2）など

【主な仕事×勤務先の状況】

	①武儀地域	②関市内（武儀地域以外）	③美濃市	④美濃加茂市、可児市等	⑤その他県内	⑥その他県外	武儀地域内	武儀地域外
自営業、事業主	99	15	4	7	15	6	67.8%	32.2%
会社員、団体職員	42	103	23	47	35	10	16.2%	83.8%
公務員	5	21	1	4	1	2	14.7%	85.3%
会社や団体の役員	11	2	1	1	2	1	61.1%	38.9%

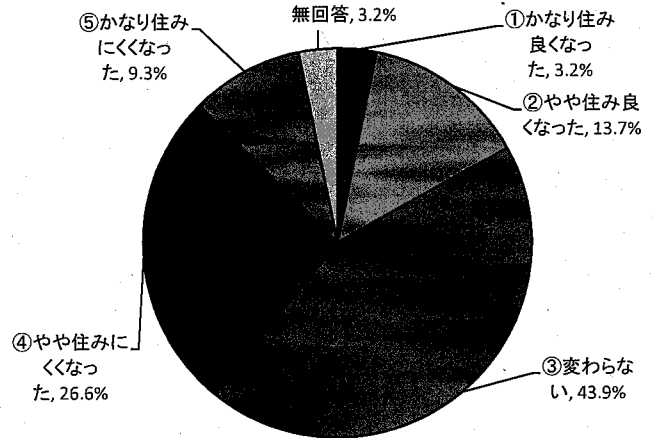
○勤務先は、「武儀地域」が45.4%と最も多く、次いで「関市内（武儀地域外）」が26.1%、「美濃加茂市、可児市、加茂郡」が11.5%となっています。

○仕事別の勤務先では、「自営業、事業主」は武儀地域内に務めている割合が67.8%となっていますが、職業の中心である「会社員、団体職員」の勤め先は83.8%が武儀地域外となっています。  
これは、生産年齢人口が昼間に地域外に出ていることを示しており、勤務先が将来的な地域外への転出のきっかけになっていると推測されます。

### (3) 住みやすさ

問7 10年前と比べて武儀地域は住み良くなりましたか。  
次の中から1つ選んでください。

設問	回答数	割合
① かなり住み良くなった	33	3.2%
② やや住み良くなった	140	13.7%
③ 変わらない	448	43.9%
④ やや住みにくくなった	272	26.6%
⑤ かなり住みにくくなった	95	9.3%
不明(無回答)	33	3.2%
合計	1,021	100.0%



【年齢別×住みやすさの状況】

	回答数						合計	割合		
	①かなり住み良くなった	②やや住み良くなった	③変わらない	④やや住みにくくなった	⑤かなり住みにくくなった	不明(無回答)		住み良くなった①+②	変わらない③	住みにくくなった④+⑤
18歳から29歳まで	1	26	63	20	7	2	119	22.7%	52.9%	22.7%
30歳から39歳まで	1	21	48	21	13	8	112	19.6%	42.9%	30.4%
40歳から49歳まで	3	14	67	31	12	5	132	12.9%	50.8%	32.6%
50歳から59歳まで	4	25	70	73	14	6	192	15.1%	36.5%	45.3%
60歳から69歳まで	8	22	104	72	24	3	233	12.9%	44.6%	41.2%
70歳から80歳まで	16	29	85	52	25	4	211	21.3%	40.3%	36.5%
不明	0	3	11	3	0	5	22	13.6%	50.0%	13.6%
合計	33	140	448	272	95	33	1,021	16.9%	43.9%	35.9%

○10年前と比べた住みやすさでは、「変わらない」が43.9%が一番多く、次いで、「やや住みにくくなった」が26.6%、「やや住み良くなった」が13.7%となっています。

○全年齢を通じて、「変わらない」が高い傾向にあります。49歳以下では「変わらない」と回答した方が、比較的多くなっています。

○年齢別の状況では、「50歳から59歳まで」の年齢層で、「住みにくくなった(④+⑤)」と回答した人が45.3%と高くなっており、次いで、「60歳から69歳まで」の年齢層で「住みにくくなった」と41.2%の人が回答しています。

○「住み良くなった(①+②)」と回答した人は全年齢を通じて1割強から2割までと低い傾向にあり、その中でも、「18歳から29歳まで」と「30歳から39歳まで」「70歳から80歳まで」の年齢層においては、約2割の人が「住み良くなった」と回答しています。

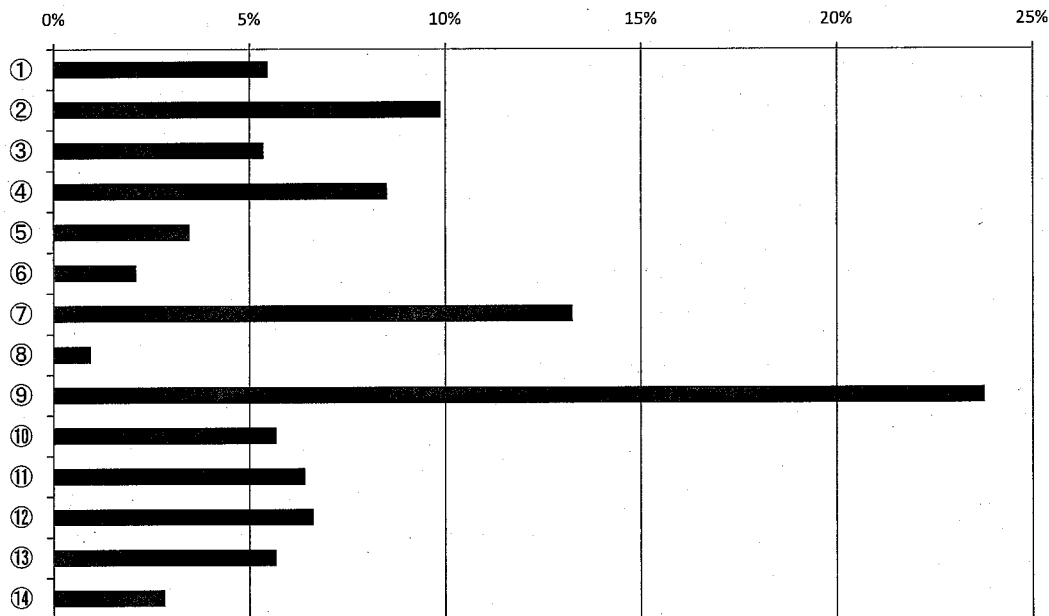


問8 問7で④・⑤を選ばれた方にお聞きします。あなたが住みにくくなったと思う理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 交通量が増えたため、安全でなくなった	52	5.5%
② 関市街地や岐阜市、上之保方面へのバスの便が悪くなった	94	9.9%
③ 災害・事故・犯罪などが発生し、生活の安全面が心配になった	51	5.4%
④ 道路や川などの管理が行き届かず汚くなった	81	8.5%
⑤ 保健（健康づくり）や医療が低下した	33	3.5%
⑥ 高齢者や障がい者福祉が低下した不明（無回答）	20	2.1%
⑦ 雑草や雑木が茂り、集落や道路沿道の景観が悪くなった	126	13.2%
⑧ 緑や野生動植物が減った	9	0.9%
⑨ 猿、猪、鹿などの野生動物が集落まで来るようになり、田畑が荒らされる	226	23.8%
⑩ 保育園や小中学校の教育環境が低下した	54	5.7%
⑪ 公共施設の使用が不便になった（老朽化や申し込み手続きなど）	61	6.4%
⑫ 買い物が不便になった	63	6.6%
⑬ 近所づきあいが（人情味）が悪くなった	54	5.7%
⑭ その他	27	2.8%
合 計	951	100.0%

<「⑭その他」の主な回答>

共同作業ができなくなった、地域活力がない、若者が地域から出ていき少子高齢化が進んだ、武儀町時代のサービスがなくなった、自治会のトラブルや人間関係の悪化、コンビニがない、車が運転できないと診療所や買い物に行けない など

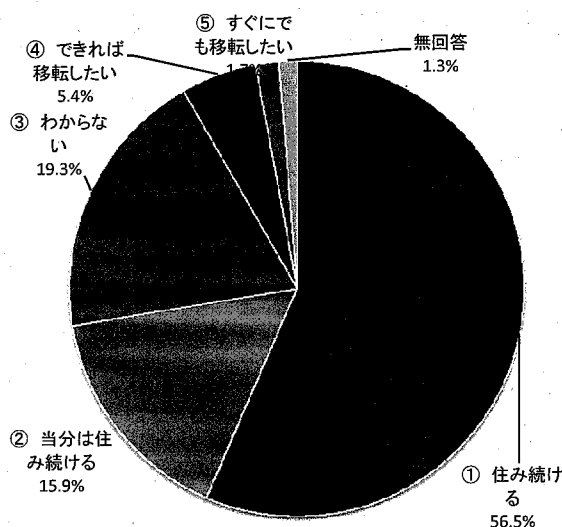


○「住みにくくなった」理由は、「猿、猪、鹿などに田畑が荒らされる」が23.8%で一番多く、次いで、「雑草や雑木が茂り、集落や道路の景観が悪くなった」が13.2%、「バスの利便性が悪くなった」が9.9%と多くなっています。

獣害による被害が拡大したことや雑草や雑木処理が行き届かなくなったために暮らしの環境が悪化して住みにくくなったと感じています。

問9 あなたは、武儀地域にこれからも住み続けますか。

設問	回答数	割合
① 住み続ける	577	56.5%
② 当分は住み続ける	162	15.9%
③ わからない	197	19.3%
④ できれば移転したい	55	5.4%
⑤ すぐにでも移転したい	17	1.7%
不明（無回答）	13	1.3%
合計	1,021	100.0%



【年齢別×住む続ける意思の状況】

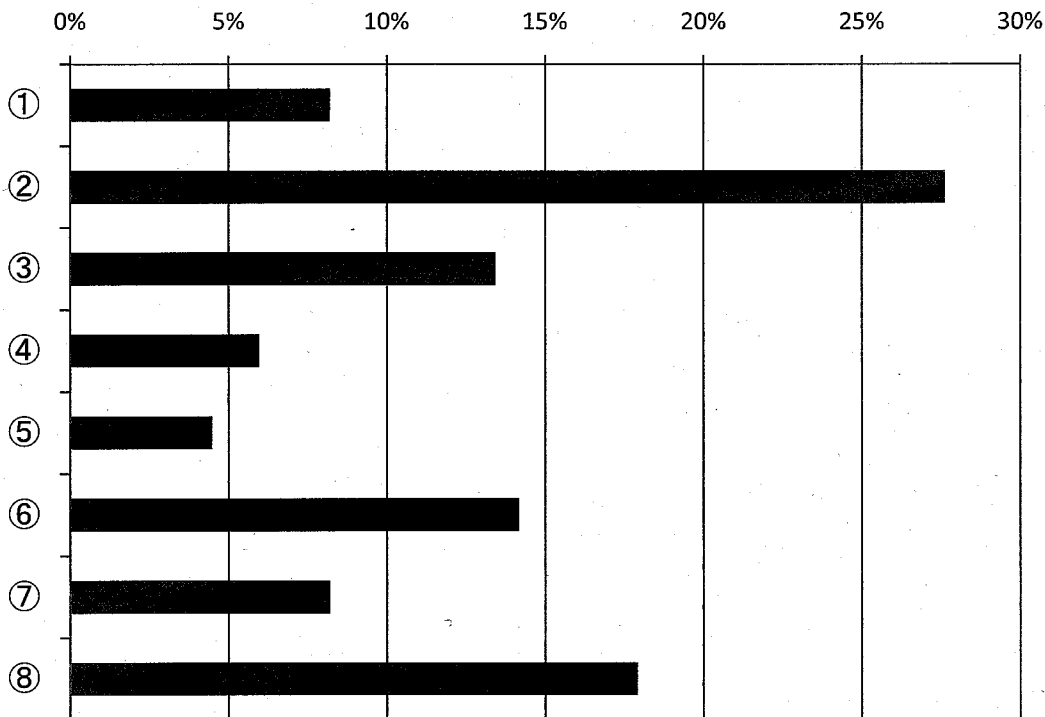
	①住み続ける	②当分は住み続ける	③わからない	④ できれば移転したい	⑤ すぐにでも移転したい	不明（無回答）	合計	住み続ける (①+②)	分からない ③	移転したい (④+⑤)
18歳から29歳まで	13	24	67	9	6	0	119	31.1%	56.3%	12.6%
30歳から39歳まで	44	20	34	8	3	3	112	57.1%	30.4%	9.8%
40歳から49歳まで	58	27	33	10	4	0	132	64.4%	25.0%	10.6%
50歳から59歳まで	117	36	26	10	2	1	192	79.7%	13.5%	6.3%
60歳から69歳まで	171	27	18	13	1	3	233	85.0%	7.7%	6.0%
70歳から80歳まで	162	24	16	4	1	4	211	88.2%	7.6%	2.4%
不明	11	4	3	1	0	0	19	78.9%	15.8%	5.3%

○「住み続ける」が56.5%と一番多く、次いで、「わからない」が19.3%、「当分は住み続ける」が15.9%となっています。

○年齢別の状況を見ると「18歳から29歳まで」では56.3%が「わからない」と回答していますが、30歳より上の年齢層では全て「住み続ける」が一番多くなっており、年齢が高くなるほど、地域に住み続ける意向が高いことが分かります。今後、若者層に対する定住、郷土愛を醸成する取組が必要になってきます。

問10 問9で④・⑤を選ばれた方にお聞きします。あなたが移転したいと思う理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 働きがいのある職場が少ないから	11	8.2%
② 通勤、通学、通院に不便だから	37	27.6%
③ 道路網、交通機関の利便性が悪いから	18	13.4%
④ 進学や塾などの子どもの教育上の問題から	8	6.0%
⑤ 医療や福祉面が不安だから	6	4.5%
⑥ 老後の生活が不安だから	19	14.2%
⑦ 買い物に不便だから	11	8.2%
⑧ 地域の付き合いが大変だから	24	17.9%
合 計	134	100.0%



○住みにくくなった理由は、「通学、通勤、通院に不便だから」が27.6%と一番多く、次いで、「地域の付き合いが大変だから」が17.9%、「老後の生活が不便だから」が14.2%、「道路網、交通機関の利便性が悪いから」が13.4%となっています。

○武儀から移転したい理由は、暮らしの不便さが一番大きな理由となっています。また、老後への不安を感じる方も多く、住民の足の確保、老後の生きがいづくりや健康づくりが地域の課題であることが分かります。

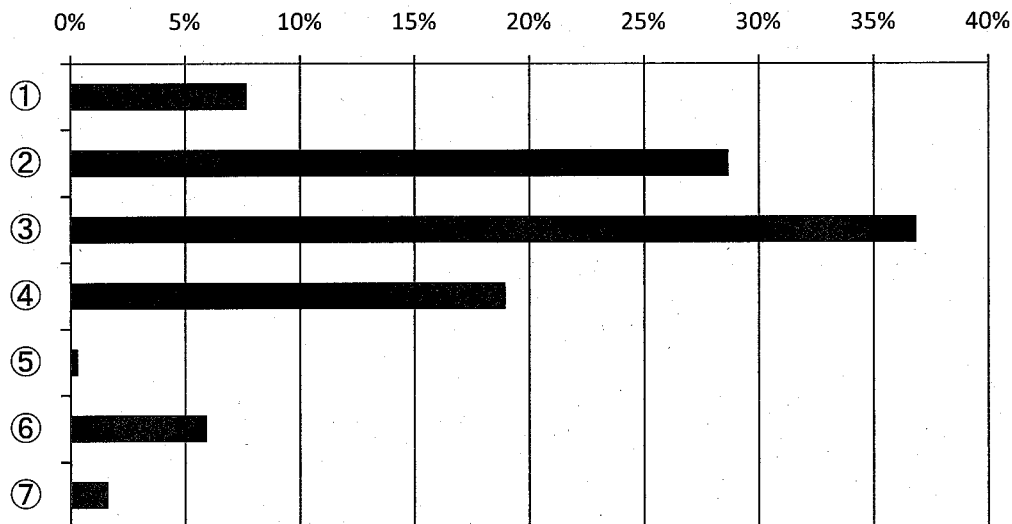
## (4) 買い物

問11 あなたは、日常生活用品を主にどうやって手に入れますか。  
次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合	36.4%	武儀地域
① 武儀地域内の小売店で購入する	123	7.7%		
② 武儀地域内のスーパーで購入する	460	28.7%		
③ 旧関市街地で購入する	591	36.8%		
④ その他の地域で購入する	304	19.0%		
⑤ 移動販売車で購入する	5	0.3%		
⑥ 注文等による宅配、共同購入を利用する	95	5.9%		
⑦ 家族や親族、ヘルパーに買ってきてもらう	26	1.6%		
合 計	1,604	100.0%		

<「④その他の地域」の主な回答>

美濃加茂市（回答数167）、美濃市（回答数51）、岐阜市（回答数8）  
など

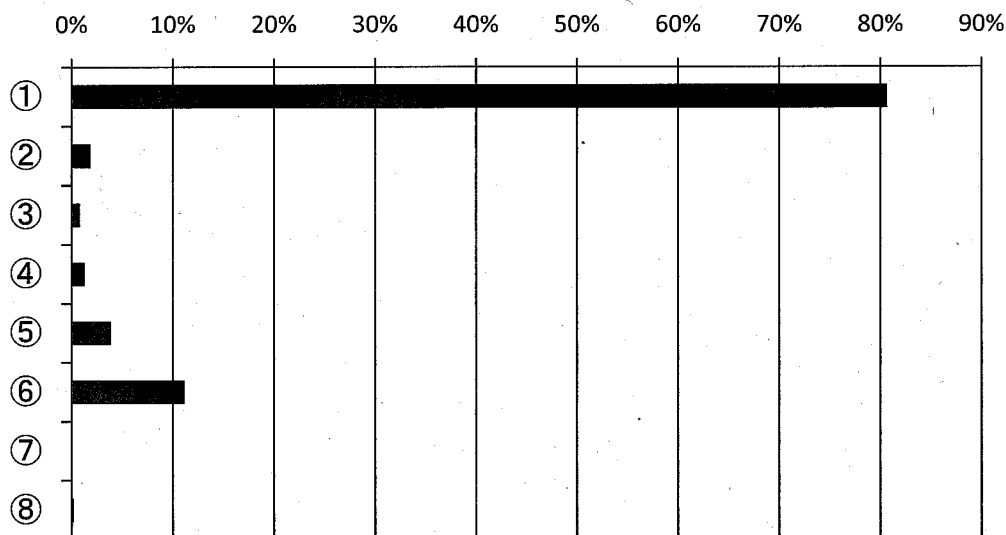


○日常生活用品の購買は、「旧関市街で購入する」が36.8%と一番多く、次いで、「武儀地域内のスーパーで購入する」が28.7%、「その他の地域で購入する」が19.0%となっています。

○「武儀地域内の小売店で購入する」人は7.7%しかありませんが、今後、さらに高齢化が進めば、車の運転が困難な方が多くなると、暮らしを支える近所のお店に対する需用が高まっていくと考えられ地域内の小売店の維持は課題です。

問12 問11で①から④を選ばれた方におたずねします。  
あなたは、日常生活用品の買い物には、どのような交通手段で行きますか。次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 自家用車	868	80.7%
② 路線バス	20	1.9%
③ NPO法人日本平成村の福祉有償運行バス	9	0.8%
④ 巡回バス（メロディバス）	14	1.3%
⑤ 自転車、徒歩	42	3.9%
⑥ 家族や友人の車に乗せてもらう	120	11.2%
⑦ タクシー	1	0.1%
⑧ その他	2	0.2%
合 計	1,076	100.0%



○買い物のための交通手段は、「自家用車」が80.7%と一番多く、次いで、「家族や友人の車に乗せてもらう」が11.2%と多くなっています。

○武儀地域では、車での移動が主要な交通手段であることが分かります。今後、さらに高齢化が進み、車の運転が困難になる人が増加したときに、路線バス、巡回バス及びNPO法人日本平成村の福祉有償運行バスが重要な交通手段になると考えられ、今後、さらに公共交通機関の利用促進に努める必要があります。

### 【60歳以上の買い物先】

	①武儀地域内の小売店		②武儀地域内のスーパー		③旧関市街地		④その他の地域		⑤移動販売車		⑥宅配、共同購入		⑦家族等に買ってきてもらう	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
60歳から69歳まで	38	10.1%	125	33.2%	126	33.5%	69	18.4%	0	0.0%	16	4.3%	2	0.5%
70歳から80歳まで	49	14.5%	129	38.2%	106	31.4%	23	6.8%	3	0.9%	17	5.0%	11	3.3%

### 【60歳以上の買い物手段】

	①自家用車		②路線バス		③NPO法人日本平成村の福祉有償運行バス		④巡回バス(メロディバス)		⑤自転車、徒歩		⑥家族や友人の車に乗せてもらう		⑦タクシー	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
60歳から69歳まで	209	82.9%	3	1.2%	1	0.4%	2	0.8%	15	6.0%	21	8.3%	1	0.3%
70歳から80歳まで	136	57.6%	12	5.1%	6	2.5%	11	4.7%	12	5.1%	59	25.0%	0	0.0%

○60歳以上の高齢者では、主に武儀地域内の店舗で買い物をしていることが分かります。特に70歳から80歳までの年齢層では、武儀地域内の小売店を14.5%、武儀地域内のスーパーを38.2%の人が利用しています。

○60歳から69歳までの年齢層の買い物手段は、主に車を利用していますが、70歳から80歳までの年齢層では、車の利用が減り、家族や友人の車に乗せてもらうことが多くなることが分かります。また、路線バス、NPO法人の福祉有償バス及び巡回バスは、年齢が高くなるにつれて利用率が上がっています。

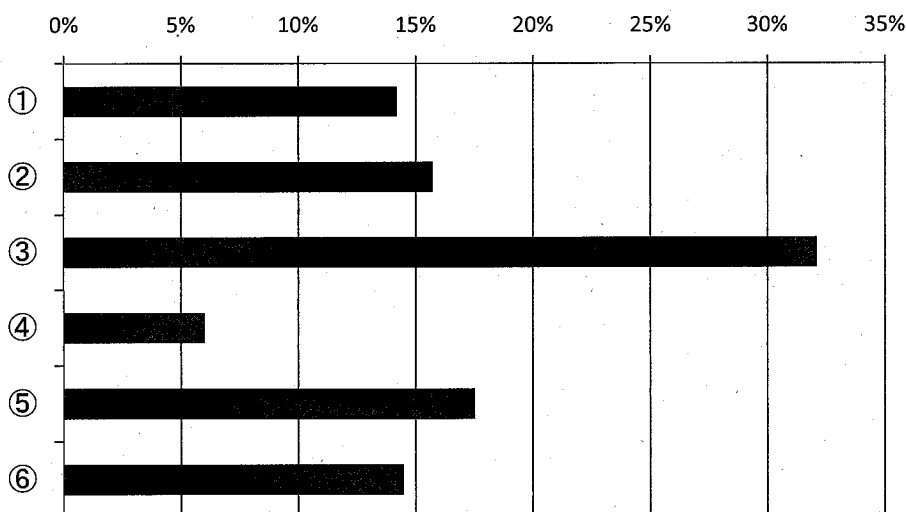
## (5) 病院・通院

問13 あなたが主に利用する医療機関はどちらですか。  
次の中から1つ選んでください。

設 問	回答数	割合		
① 津保川診療所	149	14.2%	29.9%	武儀地域
② 武儀地域内の医院	165	15.7%		
③ 中濃厚生病院	337	32.1%	55.6%	旧関市
④ 関中央病院	63	6.0%		
⑤ 旧関市内の個人医院	184	17.5%		
⑥ その他の地域の病院	152	14.5%		
合 計	1,050	100.0%		

＜「⑥その他の地域の病院」の主な回答＞  
美濃加茂市（回答数50）、岐阜市（回答数15）、  
七宗町（回答数15）、美濃市（回答数10）、  
富加町（回答数10） など

※一人で複数回答した場合も回答として算入しています。



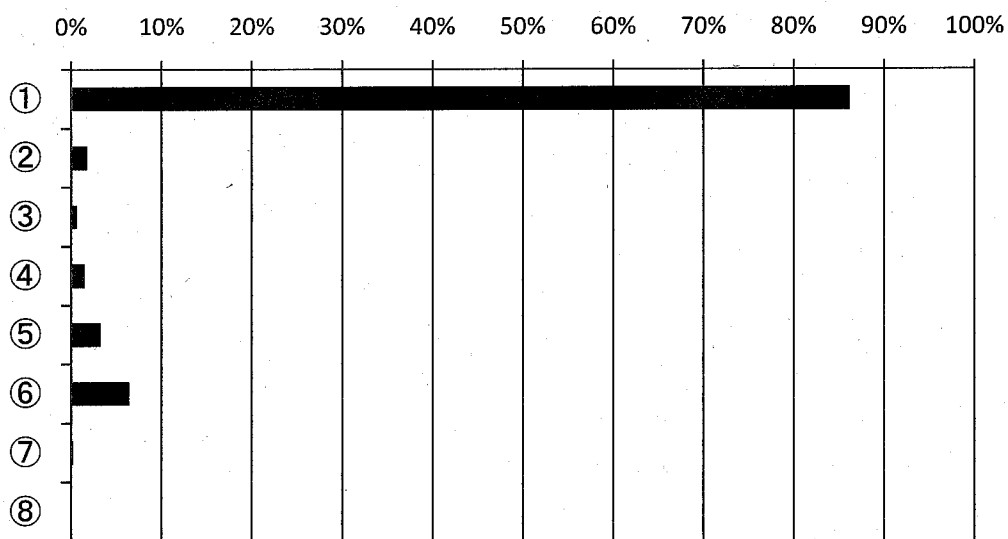
○医療機関は、「中濃厚生病院」が32.1%が一番多く、次いで、「旧関市内の個人医院」が17.5%、「武儀地域内の医院」が15.7%、「その他の地域の病院」が14.5%、「津保川診療所」が14.2%となっています。

○旧関市内に通院する方（③+④+⑤）は55.6%、武儀地域内に通院する方（①+②）は29.9%になっており、地域内の半数の方は、旧関市内に通院しています。

○津保川診療所へ通院する方と関市外へ通院する方の割合は、同程度あり、地域外へ出かける方が、津保川診療所に来ていただけるような取組が必要と思われます。

問14 医療機関には、主にどのような交通手段で行きますか。  
次の中から1つ選んでください。

設 問	回答数	割合
① 自家用車	876	86.2%
② 路線バス	18	1.8%
③ NPO法人日本平成村の福祉有償運行バス	6	0.6%
④ 巡回バス（メロディバス）	15	1.5%
⑤ 自転車、徒歩	33	3.2%
⑥ 家族や友人の車に乗せてもらう	65	6.4%
⑦ タクシー	2	0.2%
⑧ その他	1	0.1%
合 計	1,016	100.0%



○医療機関へ行く交通手段は、「自家用車」が86.2%と一番多く、次いで、「家族や友人の車に乗せてもらう」が6.4%になっており、車が主な交通手段であることが分かります。

○地域の高齢化がさらに進んで、車の運転が困難になる方が増加する場合は想定して、NPO法人日本平成村の福祉有償運行バスの利用促進を図る必要があります。



### 【60歳以上の病院の行き先】

	①津保川診療所		②武儀地域内の 医院		③中濃厚生病院		④関中央病院		⑤旧関市内の個 人医院		⑥その他の地域 の病院	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
60歳から69歳まで	46	18.4%	43	17.2%	82	32.8%	19	7.6%	32	12.8%	28	11.2%
70歳から80歳まで	50	22.4%	47	21.1%	72	32.3%	6	2.7%	26	11.7%	22	9.9%

### 【60歳以上の病院への交通手段】

	①自家用車		②路線バス		③NPO法人日本 平成村の福祉有償 運行バス		④巡回バス（× □デイバス）		⑤自転車、徒歩		⑥家族や友人の車 に乗せてもらう		⑦タクシー	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
60歳から69歳まで	207	87.7%	5	2.1%	1	0.4%	3	1.3%	11	4.7%	9	3.8%	0	0.0%
70歳から80歳まで	136	65.4%	9	4.3%	3	1.4%	7	3.4%	14	6.7%	38	18.3%	1	0.4%

○60歳以上の高齢者においても、中濃病院の利用が一番多くなっています。  
しかし、70歳から80歳までの年齢層では、武儀地域内の診療所や医院を利用する方が多くなっています。

○60歳から69歳までの年齢層の病院へ行く手段は、主に車を利用していますが、70歳から80歳までの年齢層では、車の利用が減り、家族や友人の車に乗せてもらうことが多くなることが分かります。また、路線バス、NPO法人の福祉有償バス及び巡回バスは、年齢が高くなるにつれて利用率が上がっています。

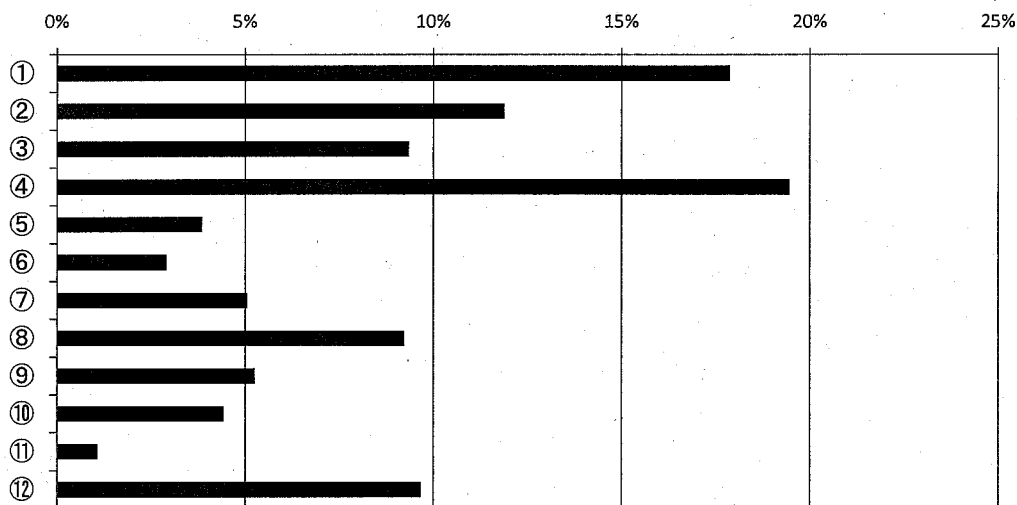
## (6) 高齢者の支援

問15 高齢者の福祉や生きがいを高めていくために、地域で充実させたいことはありますか。次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 自由に過ごせる「たまり場・憩いの場」の設置	283	17.9%
② ふれあいサロン（高齢者が集まって食事をしたり、歓談する場）	188	11.9%
③ レクリエーションや学習・趣味活動	148	9.3%
④ 仕事、働き場所の確保	308	19.5%
⑤ 高齢者と子どもとのふれあい活動	61	3.9%
⑥ 老人クラブ活動	46	2.9%
⑦ 高齢者の見守り活動	80	5.1%
⑧ 外出支援（送迎サービス）	146	9.2%
⑨ 買い物代行サービス	83	5.2%
⑩ トワイライト・ステイサービス（デイ・サービス後の夜間預かり）	70	4.4%
⑪ その他	17	1.1%
⑫ 特になし、今のままで良い	153	9.7%
合 計	1,583	100.0%

<「⑪その他」の主な回答>

旅行、高齢者が共同で暮らせる場所、老人クラブの活動は限界である、配食サービスの充実、老人福祉施設の建設 など



○「仕事、働き場所の確保」が19.5%と一番多く、次いで、「自由に過ごせるたまり場・憩いの場の設置」が17.9%、「ふれあいサロン」が11.9%と高くなっています。

○高齢者能力を地域に生かすために、高齢者の活躍の場を創設する必要があります。また、気軽に仲間と交流できる場所に対する需要が、29.8%（①+②）と高く、今後の設置を検討する必要があります。

## 【高齢者(60歳以上の人)が必要と感じる高齢者施策の状況】

設 問	60歳～69歳		70歳～80歳	
	回答数	割合	回答数	割合
① 自由に過ごせる「たまり場・憩いの場」の設置	74	21.1%	73	25.3%
② ふれあいサロン（高齢者が集まって食事をしたり、歓談する場）	32	9.1%	55	19.1%
③ レクリエーションや学習・趣味活動	42	12.0%	23	8.0%
④ 仕事、働き場所の確保	73	20.9%	17	5.9%
⑤ 高齢者と子どもとのふれあい活動	15	4.3%	7	2.4%
⑥ 老人クラブ活動	11	3.1%	14	4.9%
⑦ 高齢者の見守り活動	12	3.4%	15	5.2%
⑧ 外出支援（送迎サービス）	23	6.6%	16	5.6%
⑨ 買い物代行サービス	12	3.4%	13	4.5%
⑩ トワイライト・ステイサービス（デイ・サービス後の夜間預かり）	15	4.3%	7	2.4%
⑪ その他	4	1.1%	3	1.0%
⑫ 特にない、今のままで良い	37	10.6%	45	15.6%
合 計	350	100.0%	288	100.0%

○60代が必要と考える高齢者福祉施策は、「仕事、働き場所の確保」が20.9%と多くなっていますが、70代では「仕事、働き場所の確保」は5.9%と低くなっています。

○全高齢者を通じて「自由に過ごせるたまり場・憩いの場の設置」が一番多くなっています。

○高齢者は、自由に集い交流できる場所が必要と感じています。今後、高齢者の憩いの場を設置できるように地域で検討する必要があります。また、このような高齢者の集いの場所に、生涯学習活動、子どもとのふれあい活動、外出支援や買い物・診療所への交通手段を組み合わせることが望ましいと考えられます。

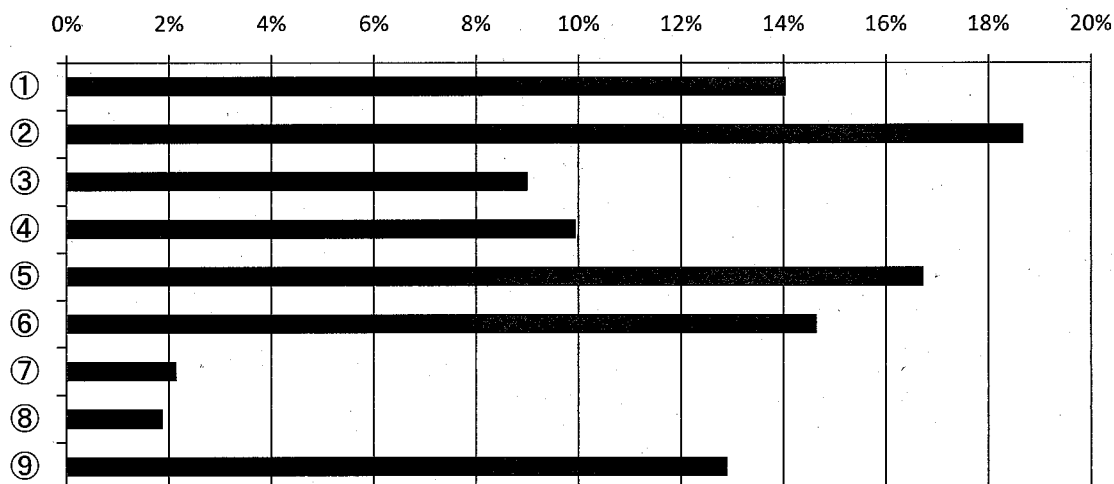
## (7) 子育て支援

問16 子どもをいきいきと育むために、地域で充実させたいことはありますか。次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 地域の自然や歴史を学ぶ場	209	14.0%
② 祭りなどの地域行事への参加	278	18.7%
③ 高齢者と子どもとのふれあいの場	134	9.0%
④ 子どもの見守り活動	148	9.9%
⑤ 子ども同士や親同士の交流の場	249	16.7%
⑥ 夏休み中の学習の場、遊び場（寺子屋）	218	14.7%
⑦ 定期的な読み聞かせや紙芝居	32	2.2%
⑧ その他	28	1.9%
⑨ 特にない、今のままで良い	192	12.9%
合 計	1,488	100.0%

<「⑧その他」の主な回答>

子どもたちが安心して遊べる場所、幼児を遊ばせる公園、武儀地域外での体験学習、学校統合、親が積極的に子育てに参加すること、出生率が上がるための取組、託児所の24時間営業、子どもが興味を引くことを考える、優秀な教育者を招いた講演会 など



○子育て支援施策では、「祭りなどの地域行事への参加」が18.7%と一番多く、関連して「地域の自然や歴史を学ぶ場」が14.0%と高い傾向にあり、子どもが地域の伝統文化や歴史、自然に触れ、郷土を学ぶことが必要だと考えられています。

○「子ども同士や親同士の交流の場」が16.7%、「夏休み中の学習の場、遊び場（寺子屋）」が14.7%と、過疎地域における子育ての悩みとなる「同じ世代の人との交流」、「子どもの学習環境」について、環境の改善が必要と考えられていることが分かります。

## 【子育て世代(49歳以下の人)が必要と感じる子育て支援施策の状況】

設 問	18歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
① 地域の自然や歴史を学ぶ場	21	11.4%	19	10.1%	14	7.0%
② 祭りなどの地域行事への参加	46	25.0%	32	16.9%	36	18.1%
③ 高齢者と子どもとのふれあいの場	8	4.3%	12	6.3%	11	5.5%
④ 子どもの見守り活動	17	9.2%	22	11.6%	25	12.6%
⑤ 子ども同士や親同士の交流の場	36	19.6%	31	16.4%	34	17.1%
⑥ 夏休み中の学習の場、遊び場(寺子屋)	29	15.8%	50	26.5%	39	19.6%
⑦ 定期的な読み聞かせや紙芝居	5	2.7%	4	2.1%	3	1.5%
⑧ その他	4	2.2%	1	0.5%	6	3.0%
⑨ 特にない、今のままで良い	18	9.8%	18	9.5%	31	15.6%
合 計	184	100.0%	189	100.0%	199	100.0%

○18歳～29歳では、「祭りなどの地域行事への参加」が25.0%と一番高くなっていますが、30歳～39歳及び40歳～49歳では、「夏休み中の学習の場、遊び場(寺子屋)」が一番高くなっており、子どもの学習活動に対する要望が高いことが分かります。

○18歳～29歳では、「子ども同士や親同士の交流の場」が19.6%と高く、子どもが少ない地域では、子ども同士や親同士の交流の機会を増やすことが必要であることが分かります。

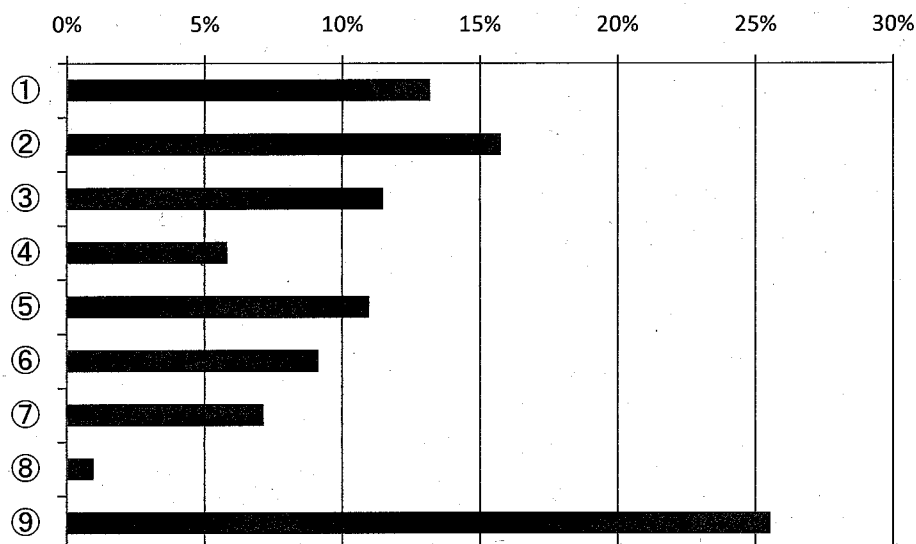
## (8) 文化・スポーツ活動の支援

問17 文化・スポーツ活動などで、地域で充実させたいことはありますか。次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 伝統・文化の伝承	179	13.2%
② 講座や教室	214	15.8%
③ 軽スポーツ（カローリング、グラウンドゴルフなど）	156	11.5%
④ 音楽活動（モーニングコンサートの復活、ムーンライトコンサート in 高沢、カラオケ大会など）	79	5.8%
⑤ 武儀人材バンク（特技を持つ人の情報を収集し、講師として活用する）	149	11.0%
⑥ サークル活動への支援	124	9.1%
⑦ 地区運動会	97	7.1%
⑧ その他	13	1.0%
⑨ 特にない、今のままで良い	347	25.6%
合 計	1,358	100.0%

<「⑧その他」の主な回答>

地区運動会を小中学校の運動会と一緒に実施する、  
登山、ウォーキング、何を計画しても負担になる、  
農作業で体力を使っているこれ以上必要ない  
ソフトボール大会 など



○文化、スポーツ活動においては、「特にない、今のままでよい」が25.6%と一番多く、次いで、「講座や教室」が15.8%、「伝統・文化の伝承」が13.2%と多くなっています。

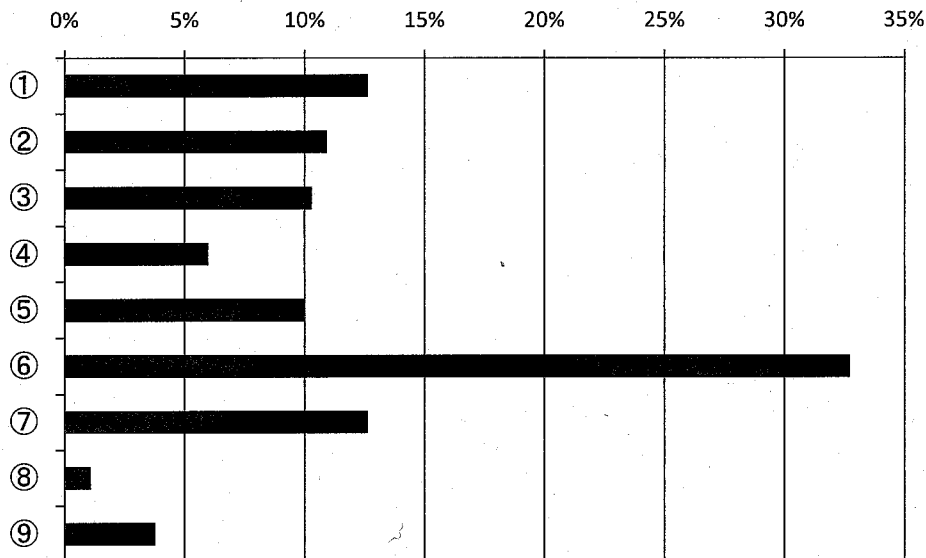
## (9) 若者の定住

問18 あなたは、若者の定住を促進するために、何が必要と思いますか。次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 結婚（男女の出会いの場）の機会の提供	222	12.6%
② 子育て支援	192	10.9%
③ 子どもの教育環境（学校、塾、スポーツクラブなど）の充実	181	10.3%
④ 自分の親などの高齢者福祉の充実	105	6.0%
⑤ 地域の古いしきたりや慣習の改善	175	10.0%
⑥ 働ける場の確保	575	32.7%
⑦ 暮らしの利便性向上（住居の確保、買い物や病院に行きやすいなど）	222	12.6%
⑧ その他	19	1.1%
⑨ 特にない、今のままで良い	66	3.8%
合 計	1,757	100.0%

<「⑧その他」の主な回答>

何をしても若者定住は無理、小学校の統合、住宅建設に対する助成、就業先の斡旋、武儀が好きな人だけが住めばよい、定住は子どもの考え次第である、ショッピングセンターやコンビニの誘致 など



○若者の定住に必要な要因は、「働ける場の確保」が32.7%と一番多くなっており、暮らしを維持するための収入を確保することが一番必要だと考えられています。

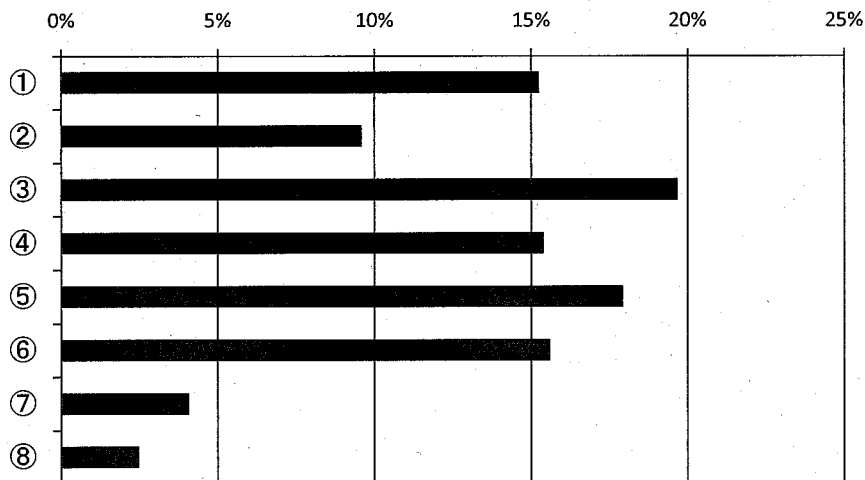
○「結婚（男女の出会いの場）の機会の提供」が12.6%、「暮らしの利便性向上」が12.6%と高くなっており、若者の定住を促進するためには、家庭や暮らしの向上に資する取組が必要です。

## (10) 集落の維持

問19 あなたは、現在の集落を維持するには、どうしたらよいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 自治会の統合をする	210	15.3%
② 山林、神社、墓地など、集落の財産を維持する組織をつくる	132	9.6%
③ 集落の活動や集会に、女性や若者が積極的に参加する機会をつくる	271	19.7%
④ 高齢者宅を巡回し、暮らしの困りごとを解決する「集落支援員」を配置する	212	15.4%
⑤ 空き家を利用して外から人を集落に呼び込む	247	17.9%
⑥ 集落は維持できないので、集落活動を縮小する	215	15.6%
⑦ 地域外からの支援を受ける	56	4.1%
⑧ その他	34	2.5%
合 計	1,377	100.0%

<「⑧その他」の主な回答>  
 若者の定住、交通網の改善、維持するという考え方がだめ、集落活動は最低限にする、NPO法人が農地を一括管理する など



○集落を維持していくために必要なことは、「集落の活動や集会に、女性や若者が積極的に参加する機会をつくる」が19.7%で一番多く、次いで、「空き家を利用して外から人を集落に呼び込む」が17.9%と多くなっています。

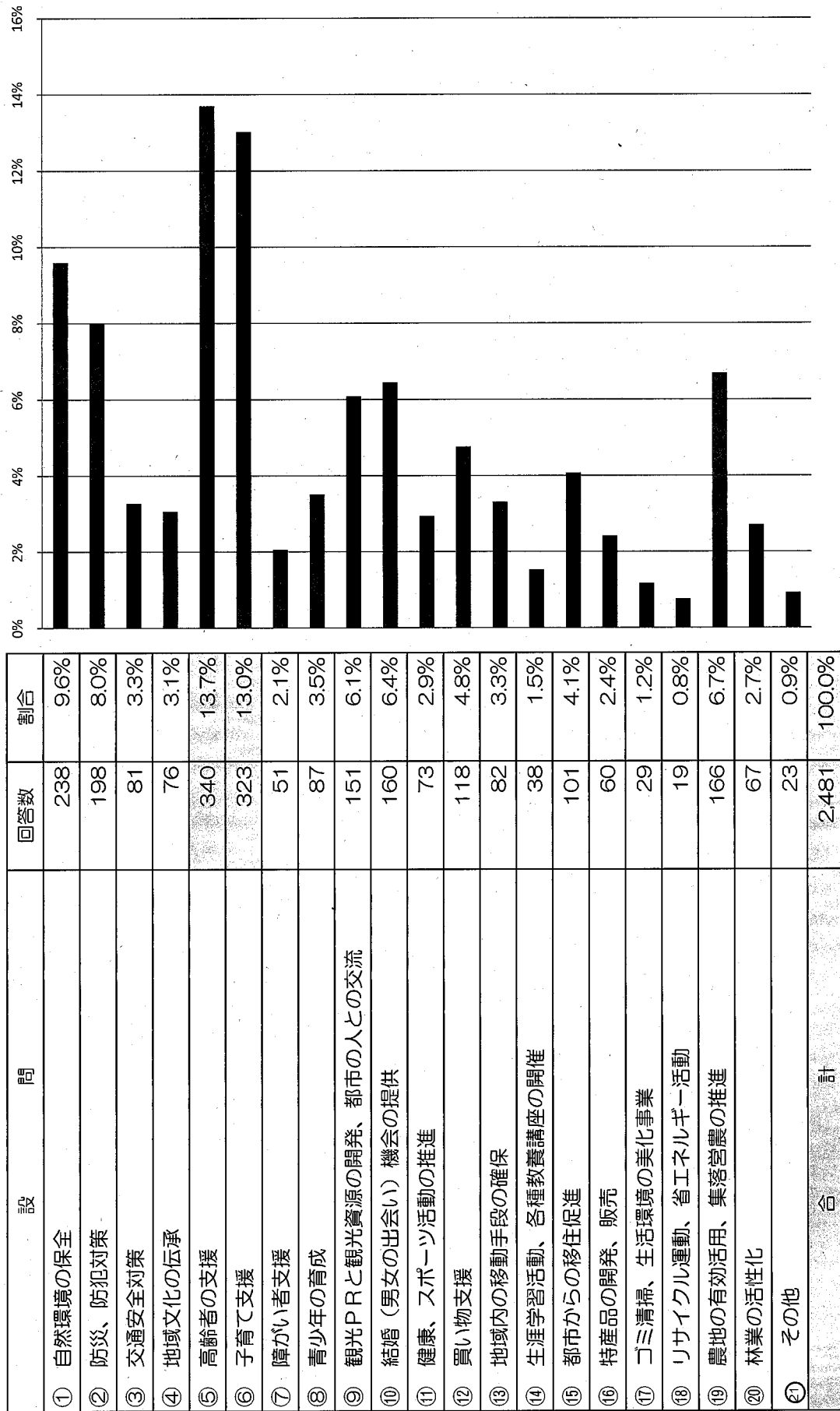
○集落活動を維持していくには、女性や若者の力、外部からの力をもって維持するしかないと考えの人が多くなっています。地域力を高めるために、新しい活力を武儀地域へ導入する仕組みや活動が必要となっています。

○「集落は維持できないので、集落活動を縮小する」が15.6%あり、集落の維持は困難であると消極的に捉えている方が多くなっています。



# (11) 武儀の住民が力を合わせて行うこと

問20 あなたは、今後、武儀地域がもっと住みやすくなるために、住民が力を合わせて、どの分野に  
取り組むべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



<㉑「その他」の主な回答>  
郷土料理の配食サービス、若者の雇用の場、地域外との差別化を図る、一人ひとりが老後を生き抜き農地を守る、旧街道の整備、コンビニをつくる、工業団地を造る、企業の誘致、行政の強化、泥棒がいらない地域にする など

【年齢別×住民が力を合わせて取り組むべき活動】

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
18歳から29歳まで	⑥子育て支援	⑤高齢者の支援	②防災、防犯対策	①自然環境の保全	⑨観光PRと観光資源の開発、都市の人との交流	⑫買い物支援
30歳から39歳まで	⑥子育て支援	⑤高齢者の支援	⑮都市からの移住促進	①自然環境の保全	⑨農地の有効活用、集落営農の推進	⑬地域内の移動手段の確保
40歳から49歳まで	⑥子育て支援	⑤高齢者の支援	②防災、防犯対策	⑨農地の有効活用、集落営農の推進	①自然環境の保全	⑮都市からの移住促進
50歳から59歳まで	⑤高齢者の支援	⑥子育て支援	①自然環境の保全	⑩結婚（男女の出会い）機会の提供	⑨農地の有効活用、集落営農の推進	②防災、防犯対策
60歳から69歳まで	⑤高齢者の支援	①自然環境の保全	⑥子育て支援	⑩結婚（男女の出会い）機会の提供	②防災、防犯対策	⑰農地の有効活用、集落営農の推進
70歳から80歳まで	⑤高齢者の支援	①自然環境の保全	②防災、防犯対策	⑩結婚（男女の出会い）機会の提供	⑨農地の有効活用、集落営農の推進	⑨観光PRと観光資源の開発、都市の人との交流

○武儀地域が住みよくなるために、住民が力を合わせて行うことは、「高齢者の支援」が13.7%で一番多く、次いで、「子育て支援」が13.0%と多くなっており、今後の武儀地域のために、高齢者や子育てのための福祉施策を住民の力で実施することが必要とされています。

○また、「自然環境の保全」が9.6%、「防災、防犯対策」が8.0%、「農地の有効活用、集落営農の推進」が6.7%と多く、住民が力を合わせて、武儀の自然を守り農地を保全していくこと、さらに、防災、防犯の活動を行うことが必要とされています。

○年齢別の状況で、地域で取り組むべきことを見ると、49歳以下は「子育て支援」が一番必要であり、50歳以上では「高齢者の支援」が一番必要であると考えられています。  
また、50歳以上の年齢層は、「結婚機会の提供」が必要であると回答する方が多くなっています。

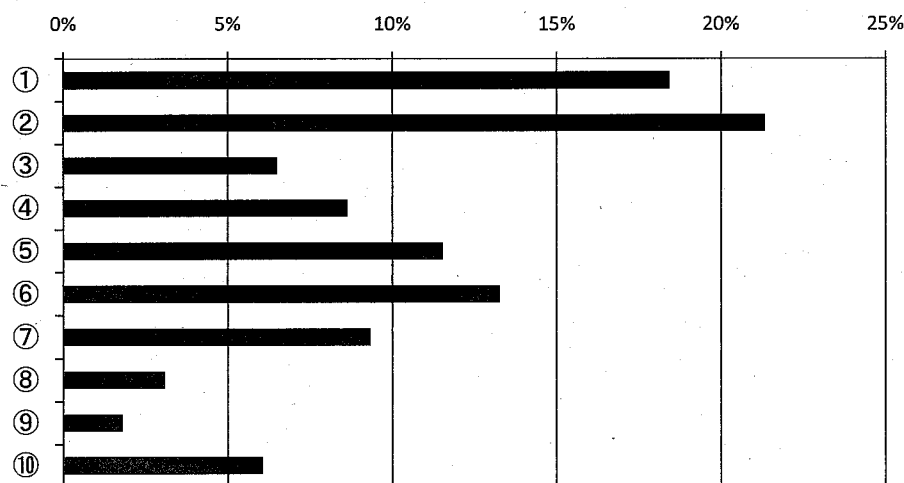
## (12) 観光資源、交流人口の増加

問21 あなたは、武儀地域の観光振興・交流人口を増加させるために何が必要と思いますか。次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 美しい自然や景観の保全	286	18.4%
② 森林や河川を活用して自然に親しむ場	331	21.3%
③ 農業・林業の体験メニュー	101	6.5%
④ 地域資源や観光のPR	134	8.6%
⑤ 魅力ある観光ルートの設定、観光案内標識の整備	179	11.5%
⑥ 地域の素材を活用した料理、土産品の開発	206	13.3%
⑦ 地域資源を活用したイベント	145	9.3%
⑧ 来訪者へのサービスや割引	48	3.1%
⑨ その他	28	1.8%
⑩ 特にない	94	6.1%
合 計	1,552	100.0%

<「⑨その他」の主な回答>

ゆるキャラ作り、平成公園の利用拡大してアイデアを募集する、人が増えれば自然は汚れる、魅力あるものがない、高澤の再開発、住宅の建売、市営住宅の整備、人口重心のPR、企業誘致、地域資源を創出する、武儀は無理 など



○武儀の観光振興、交流人口を増加させるためには、「森林や河川を活用して自然に親しむ場」が21.3%と一番多く、次いで、「美しい自然や景観の保全」が18.4%、「地域の素材を活用した料理、土産品の開発」が13.3%となっています。

○交流人口を増やすためには、武儀の自然を生かすことが大切と考えている方が多いことが分かります。また、郷土の素材を生かす料理、土産品を開発して、食による地域活性化が大切と考えている方も多くなっています。

## (13) 武儀の地域資源

問22 あなたは、武儀地域の宝などについて、どのように考えますか。

①から④までの各項目について、代表的なものを一つ記入してください。  
(自由記載)

### ①武儀の宝

回答の内容		回答数	割合
自然 関連	自然、美しい自然	146	34.7%
	津保川	34	8.1%
	水	9	2.1%
	山	6	1.4%
	小計	195	46.3%
高沢観音、多宝塔		130	30.9%
人	人のつながり、温かい人柄	28	6.7%
	子ども	24	5.7%
	お年寄り	3	0.7%
	小計	55	13.0%
災害がない、平和なまち		9	2.1%
道の駅平成		6	1.4%
しいたけ		7	1.7%
「平成」という名前		4	1.0%
円空仏		3	0.7%
人口重心地		2	0.5%
その他		10	2.4%
合計		421	100.0%

その他の回答の内容
八滝キャンプ場
西部功さんの陶芸
活用可能な農地
各集落の歴史
映画監督
道路、県道関～金山線
鮎
神社



○武儀の宝は、「自然」として記入した人が34.7%と一番多くなっています。「津保川」、「山」、「水」などの回答を合わせると約半数の人(46.3%)が自然に関連したものを宝だと思っていることが分かります。また、「高沢観音、多宝塔」が30.9%と次いで多くなっています。

○「人のつながり、人柄」、「子ども」、「お年寄り」が宝であると記入した方が13.0%もあり、武儀は人のつながりの深い地域であり、人を大切にする地域性が分かります。

## ②武儀の観光資源

回答の内容		回答数	割合
高沢観音、多宝塔		92	28.5%
道の駅平成		86	26.6%
自然 関連	津保川、森林、山	44	13.6%
	自然	19	5.9%
	水	7	2.1%
	木、木材	8	2.4%
	小計	78	24.0%
しいたけ、しいたけスナックなど		34	10.5%
八滝ウッディランド		10	3.1%
鮎、友釣り		4	1.2%
人口重心地		4	1.2%
武儀の昔話、ロマンウォーク		3	0.9%
パッションフルーツ		2	0.6%
その他		10	3.1%
合計		323	100.0%

その他の回答の内容
仏教美術
神社、仏閣
山菜（竹の子を含む）
きれいな水で育ったお米、農産物
乳岩
田舎
ささゆり
桜・紅葉
こぶし街道ののどかな道



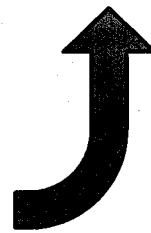
○武儀の観光資源は、「高沢観音、多宝塔」が28.5%と一番多く、次いで、「道の駅平成」が26.6%、「津保川」「自然」などの自然を生かすことが24.0%、「しいたけ、しいたけスナック」が10.5%と多くなっています。

○これらの貴重な地域資源の価値を再確認して、外から人を呼び込む仕組みや地域の人がみんなで地域資源を大切に取る取組が必要になってきます。

### ③おすすめの景観スポット

回答の内容	回答数	割合
高沢観音	132	37.1%
津保川の桜、大門の桜	43	12.1%
道の駅平成	39	11.0%
八滝ウッディランド	38	10.7%
しいたけ、しいたけスナックなど	34	9.6%
津保川、森林、山	18	5.1%
平成山、平成公園	12	3.4%
清兵衛淵	8	2.2%
星空、夕日	6	1.7%
西洞川の蛍	4	1.1%
円空峠	3	0.8%
轡野乙女滝	3	0.8%
水晶山	2	0.6%
お宮の清水	2	0.6%
その他	12	3.4%
合計	356	100.0%

その他の回答の内容
武儀の昔話にある場所
各神社仏閣
上野橋（彼岸花、桜）
粟野から南側の山（こぶしと紅葉）
のぞき岩
山川の紅葉
下之保地域



○武儀のおすすめの景観スポットは、「高沢観音」が37.1%と一番多く、次いで、「津保川の桜、大門の桜」が12.1%、「道の駅平成」が11.0%、「八滝ウッディランド」が10.7%と多くなっています。

○特徴的なのは、津保川沿いの桜を大切に思っている方が多いことです。今後、すばらしい景観を後世に残すために、津保川沿いの景観美化活動を地域で行ったり、高沢観音、高沢山からの見晴らしの「すばらしさ」をPRしていく必要があります。

#### ④おすすめの食べ物

回答の内容		回答数	割合
しいたけ 関連	しいたけ	218	53.4%
	しいたけスナック、クッキー	73	17.9%
	しいたけ丼、しいたけかつ丼	4	1.0%
	しいたけコロッケ	4	1.0%
	しいたけ料理、しいたけバーガーなど	4	1.0%
	小計	303	74.4%
鮎、川魚		38	9.3%
けいちゃん、まぶちのけいちゃん		14	3.4%
玉味噌		5	1.2%
道の駅のソフトクリーム		5	1.2%
朴葉寿司		5	1.2%
しし鍋、一松亭のしし肉ラーメン		5	1.2%
米		5	1.2%
へぼめし、へぼ		4	1.0%
道の駅の手打ちそば		3	0.7%
うなぎ、うな丼		3	0.7%
五平もち		2	0.5%
まつたけ		2	0.5%
その他		14	3.4%
合計		408	100.0%

その他の回答の内容
ゆでたけのこの炭焼き、たけのこ
こんにゃく
麦とろご飯
胡椒漬け
ます寿司
パッションフルーツ
つけもの
水
イチゴ
道の駅のラーメン
野菜

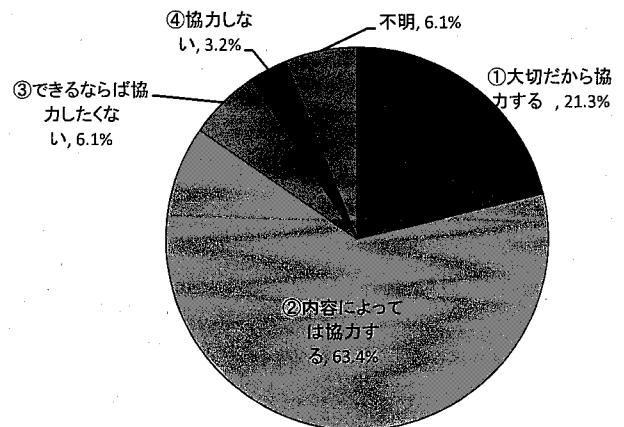


○武儀のおすすめの食べ物は、「しいたけ関連」が74.4%と圧倒的に一番多くなっています。今後、食のイベントを開催するなど、武儀のしいたけを生かす取組が必要です。

## (14) 地域貢献

問23 あなたは今後、地域のみんで進めるまちづくりに協力しますか。

設問	回答数	割合
① 大切だから協力する	217	21.3%
② 内容によっては協力する	647	63.4%
③ できるならば協力したくない	62	6.1%
④ 協力しない	33	3.2%
不明（無回答）	62	6.1%
合計	1,021	100.0%



### 【年齢別×地域貢献意識の状況】

年齢区分	①大切だから協力する		②内容によっては協力する		③できるならば協力したくない		④協力しない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18歳から29歳まで	12	10.1%	87	73.1%	7	5.9%	4	3.4%	9	7.6%
30歳から39歳まで	16	14.3%	77	68.8%	9	8.0%	6	5.4%	4	3.6%
40歳から49歳まで	24	18.2%	87	65.9%	12	9.1%	7	5.3%	2	1.5%
50歳から59歳まで	25	13.0%	136	70.8%	18	9.4%	7	3.6%	6	3.1%
60歳から69歳まで	68	29.2%	140	60.1%	3	1.3%	4	1.7%	18	7.7%
70歳から80歳まで	70	33.2%	104	49.3%	13	6.2%	5	2.4%	19	9.0%
年齢不明	2	9.1%	16	72.7%	0	0.0%	0	0.0%	4	18.2%
合計	217	21.3%	647	63.4%	62	6.1%	33	3.2%	62	6.1%

○地域貢献の意識は、「内容によっては協力する」が63.4%で一番多く、次いで、「大切だから協力する」が21.3%となっています。この2つの選択肢を合わせると84.7%になり地域のみんで進めるまちづくりの大切さや活動に参加することへの理解が、武儀の住民全体にあることが分かります。

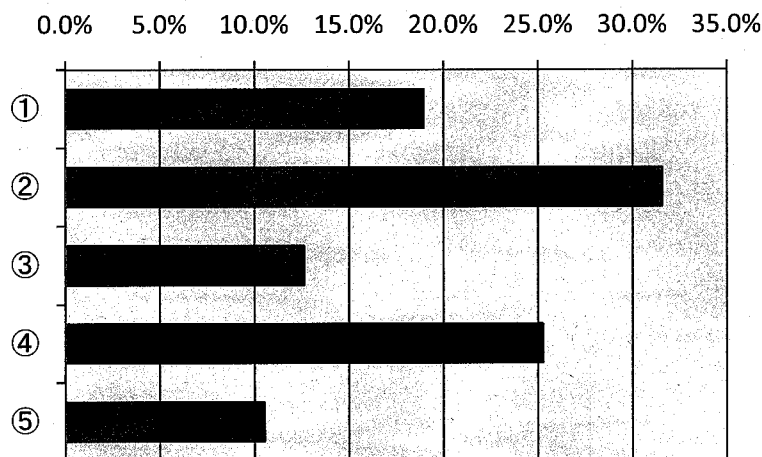
○年齢別の地域貢献意識の状況は、年齢が高くなるほど地域のみんで進めるまちづくりを大切だと感じ、活動への参加の意思を示しています。「できるならば協力したくない」、「協力しない」の回答は全年齢を通じて相対的に低く、武儀の地域に対する住民意識の高さを示しています。



問24 問23で③または④を選ばれた方にお尋ねします。地域のみんなが進めるまちづくりに協力したくないのはなぜですか。次の中から1つ選んでください。

設 問	回答数	割合
① 地域のことに、あまり関心が無い	18	18.9%
② 忙しくて参加できない	30	31.6%
③ 高齢で外出や活動が難しい	12	12.6%
④ 面倒である	24	25.3%
⑤ その他	10	10.5%
無回答	1	1.1%
合 計	95	100.0%

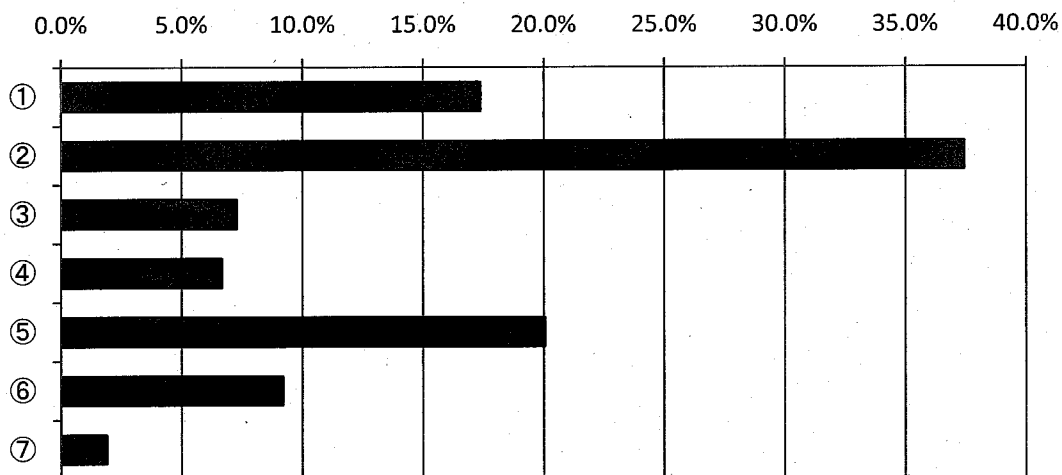
＜「⑤その他」の主な回答＞  
 病人がいる、地域が発展しようがない、  
 気苦労が増える、自由がなくなる、  
 同一の人が長い間携わってはいけない、  
 個々の自由で参加すればよい など



○地域活動に貢献できない理由は、「忙しくて参加できない」が31.6%で一番多く、次いで、「面倒である」が25.3%となっています。

問25 今後、地域のみんなで進めるまちづくりに、多くの人が参加するためには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

設 問	回答数	割合
① 活動のマナー化の解消	255	17.4%
② 参加しやすい場所と機会の提供	549	37.4%
③ 地域活動の意義を周知する	107	7.3%
④ 自分の意見が言える場をつくる	98	6.7%
⑤ 女性、若者、子どもが広く参加する機会をつくる	294	20.1%
⑥ ボランティア活動の有償化、謝礼の支給	135	9.2%
⑦ その他	28	1.9%
合 計	1,466	100.0%



○今後、多くの人が地域活動に参加できるようにするためには、「参加しやすい場所と機会の提供」が37.4%と一番多く、次いで、「女性、若者、子どもが広く参加する機会をつくる」が20.1%となっています。

○問23では約8割の人が地域活動に参加してもよいと回答しており、今後、地域のみんなが参加しやすく、気軽に集まれる機会を持つことが重要となります。また、子ども、女性、若者の参加を促し、地域内全ての人で地域を支えることが大切になってきます。